

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

区政レポート

発行者
練馬区豊玉北6-12-1
練馬区役所西庁舎6階
会派名
練馬区議会立憲民主党
03-3999-3111
内線7681~7683

今なお、コロナ禍の影響大！

一般質問で訊く！！

令和3年は、緊急事態宣言の繰り返しの中、生活は未だ不安定。ワクチン接種促進だけでなく、東京五輪開催、経済は復活していくのか？ 安全と安心への担保に保障もない。今定例会の一般質問にて区長に答弁を求めた。

令和3年度の税込と区政運営への影響大に？

【問】 都区内の「中小企業の景況」の調査からも、「コロナ禍前の例年の売上より減少した65%」、今後の事業継続上の不安・心配の問いに「先行き不透明による計画の策定が困難である約37%」の結果となり、度重なる時短営業・休業要請や雇用の不安定等、区政運営への影響と試算は？

【答】 企業収益の悪化は、かつてのリーマンショック以上。今後の区の課題は、社会保障費の増と大規模改修・改築の施設も多く、区政運営は、ますます厳しいものと認識している。

区の東京五輪のイベント実施は不可能では？

【問】 五輪への「開催」「中止」の世論調査の数字も日々変化しているが、感

染症対策への不安は大。区が実施する、選手団の受け入れや交流事業、パブリックビューイングは中止をしていくべきではないか。

【答】 既に、高齢者の1回

コロナワクチン接種の体制と、コロナ感染症への対策と支援は？

【問】 6月より診療所での個別接種開始。だが、予約やキャンセル方法に区民は

【答】 既に、高齢者の1回



の事業者から、厚労省に苦情が寄せられた。区もオンライン方式で集団指導を行ったが、現場からは、「未だLIFEが何なのか理解ができていないので、取得について不安がある」「今後も説明会や研修をしてほしい」「ケアの評価の見える化は、簡単ではなく気持ち・意欲の評価はどのようにみるのか」等々の声が寄せられている。

7月4日には、東京都議会議員選挙、秋には、衆議院議員選挙、来年には、練馬区長選挙がある、自宅やホテルでの感染症療養者も、憲法で保障された選挙権が侵されないよう体制を。

4月からの介護保険法改定で、事業者への支援が重要になるか？

【問】 科学的介護情報システム（IIE）が、当初からシステム障害により、全国

【答】 科学的介護情報システム（IIE）が、当初からシステム障害により、全国

災害時、より良い避難生活が可能になるテントを。

【問】 災害時、より良い避難生活が可能になるテントを。

【答】 既に、高齢者の1回

白石けい子 活動レポート



練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生れ。
 練馬区立練馬第二小学校・貫井中学校・都立第四商業高等学校・東京都練馬高等保
 育学院卒業。保育士・社会福祉主事・ホームヘルパー2級。
 1994年10月 保育サービス事業 現「保育ルームぽかぽか」の事業開始。
 2000年12月 NPO法人 ケアステーションぽかぽか設立 現理事長
 2002年 1月 「ぽかぽかデイサービス高松センター」を開設し、保育との融合施設。
 2007年 4月 初当選。現在、4期目。家族 夫・子ども7人(義理含)孫 6人 猫 1匹
 連絡先：練馬区高松3-24-19 TEL 03-3990-3107 E-mail info@shiraishi-keiko.net



沢村信太郎 富田けんじ 白石けい子 藤井ともりのり

藤井ともりのり東京都議会議員と政策勉強会！

緊急事態宣言が長引く中、都政の動きは、この練馬区にも大きく影響している。今回は、藤井ともりのり都議と一緒に勉強会を開催。

(二部掲載)

【藤井】東京オリンピック・パラリンピックや豊洲新市場など都政の重要課題でさえ、その意思決定課程が不透明なものとなっており、明らかに機能していない都政の現実があります。昨年のコロナ感染拡大による、基金もかなり取り崩し、積極的支援にしても、未だ、生活も経済も回復していかない。そこで、オリ・パラ開催もはつき

りせず、都民も区民も、正直、苛立っていますね。私も歯痒いです。【白石】政府の方針決定も遅く、IOCが決定することに終始し、命の守り方やアスリートファーストが見えていないですね。ところで、区も待機児童が「ゼロ」になるなど、保育所のあり方も変化してきたように思いますがどう見えていますか。【藤井】練馬区は、子育て世代を中心とした転入者の「社会増」によつて人口が増加してきました。今後は、コロナの影響で、人口増加は望めない状況。それだけに、区と都が連携し、子どもの笑顔あふれる練馬にしていきたいですね。【白石】3回目の緊急事態宣言で、時短営業や休業を余儀なくされている店舗は体力の限界と不安な声が聞こえています。【藤井】都は、店舗にお願いばかり、協力を全国先駆けて始めたのが都です。都は制度を創設した責任がある。「これからは、国と協議していく」の一点張り。都がやるという気概を求め、公認会計士として声を出していきます。【白石】教員の性犯罪防止法が成立し、今後は、都に「教員免許再授与審査会」が設置されますが、それよりも、子どもに辛い思いを絶対させたくないです。【藤井】4人の子を持つ親として、身につまされる思いです。子どもたちを守るよう頑張ります。

休眠預金を知っていますか？

ー山岸いつせいのNPO団体向けセミナーに参加してー

休眠預金とは、10年以上お金の出し入れがなく、金融機関との取引がない状態の預金等です。「休眠口座」といった呼び方もされています。金融庁によると、14年から16年度の休眠預金は、年間に1200億円程度発生していて、そのうち500億円程度が預金者に払い戻しされている状況です。

この忘れられたお金を民間公益活動に活用しようと始まったのが「休眠預金等活用法」です。

山岸いつせい総支部長が、情報提供をと、練馬区のNPO法人に向けたセミナー開催に参加しました。

理念や思いが強いNPO団体、運営費の捻出の問題が現実です。そんな団体の一筋の光明となるかも。

▼白石けい子の考察▲

東京五輪の際、練馬区内で行われるパブリックビューイングの中止について一般質問で答弁がもらえず、再質問をしたが区は、再度『練馬区版マニュアルで実施』と繰り返しの答弁。だが、翌日、感染拡大を懸念し「中止としました。」と答弁の変更をしてきた。

議会最終日、誰でもが、東京オリンピック等を安心して大いに観戦をしたいが、未だ、何の説明もないままワクチン接種と安全・安心の一点張りだけでは不安と感じるそんな議員らで、「感染拡大の懸念を払拭できない限り、東京オリンピック・パラリンピックの延期または中止を求める意見書」の議員提出議案の提出をした。

7月4日は東京都議会議員、秋には、衆議院議員選挙がある。どのような都・国にさせるかは、有権者の関心と一票次第といえる。



山岸いつせい 中村喜四郎代議士 白石けい子

中村喜四郎代議士、練馬区議会の各会派に表敬訪問!!

区議会の定例会中、野党の各会派への表敬訪問をしていたが、山岸いつせい東京第9区総支部長も同伴し、これからの日本の政治の方向性、命の対策の重要性の意見交換をしました。